

特に注意していただきたいこと-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

警告(WARNING) この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意(CAUTION) この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い(NOTICE) 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

警告(WARNING)



ガソリン
厳禁

ガソリン厳禁

灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。



禁止

給排気筒トップの閉そく危険 【屋内設置・強制給排気形の場合】

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

排気筒トップの閉そく危険 【屋内設置・強制排気形の場合】

排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。閉そくしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

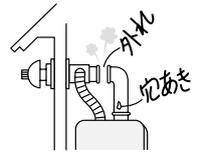


禁止

給排気筒外れ危険

【屋内設置・強制給排気形の場合】

給排気筒(管・ホース)を、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。穴があいたり外れていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

排気筒外れ危険

【屋内設置・強制排気形の場合】

排気筒に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



特に注意していただきたいこと-2

⚠️ 注意(CAUTION)



高温注意

高温注意

次の事項に気をつけてください。やけどのおそれがあります。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

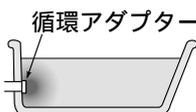
60 の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。



入浴時は、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



ふる自動・沸かし直し・追いだき中は、循環アダプター付近があつくになるのでさわらない



ふる自動・追いだき中に同時にお湯を使用した場合、またはお湯の使用直後にふる自動・追いだきをした場合、循環アダプターからの吹き出し温度が高くなるため、注意する

お湯の使用中は、浴槽水の有無に関わらず、循環アダプターからあついお湯が出たり、まわりが高温になる場合があるため、注意する



高温部接触禁止

接触禁止

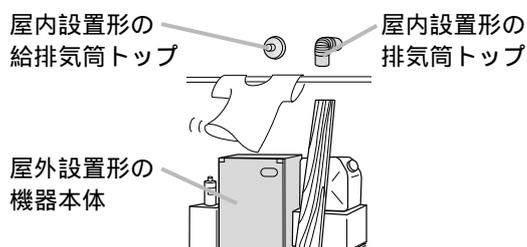
燃焼中や消火直後は排気口・(給)排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。



燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油缶など)

禁止

火災の原因になります。



禁止

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。



必ずおこなう

混合栓などで一度お湯を止めた後、すぐに再使用する場合は必ず給水栓から開け、つぎに給湯栓を開けてください。湯側から開けると、いきなり熱湯が出ることがあります。また、給湯使用時は蛇口が熱くなるので、さわらないでください。やけどのおそれがあります。



禁止

排気口・(給)排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。



必ずおこなう

異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチ「切」にする
3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
4. お取付店または、弊社窓口
に連絡する



火災・感電・故障などの予防のため。



必ずおこなう

油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

油漏れにより、火災の原因になります。



禁止

変質灯油・不純灯油を使用しない

変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。

機器の故障の原因になります。



禁止

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

(つづく)

(つづき)



ぬれ手
禁止

電源プラグはぬれた手でさわらない
感電の原因になります。

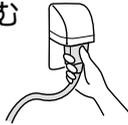


感電注意



必ず
おこなう

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不十分だと、
感電や火災の原因になります。



必ず
おこなう

電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず
おこなう

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜くと
ともに、凍結を予防するため、必要な処置を
してください。(P49,50)
火災や予想しない事故の原因になります。



必ず
おこなう

電源プラグは、コードを持たずにプラグを
持って抜く
コードを持って抜くと、
コードが破損し、発熱、
火災、感電の原因になります。



分解禁止

お客さまご自身では絶対に分解したり、修
理・改造はおこなわない
異常作動してけがの原因となります。



必ず
おこなう

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは
60Hz用です
他の電源で使用すると、故障・火災の原因にな
ります。



禁止

子供を浴室で遊ばせない
子供だけで入浴させない
思わぬ事故の原因になります。



禁止

お湯の中にもぐったり、循環アダプターの
フィルターをはずして使用しない
運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれ
て、おぼれたり、けがをするおそれがあります。



禁止

ゴム製送油管を屋外で使用しない
油漏れにより火災のおそれがあります。



注意

換気必要

【屋内強制排気形の場合】

空気取入口・換気口をふさがない。
ふさがれていると不完全燃焼を起こすことが
あります。



禁止

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器
の故障の原因になります。



禁止

ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれの
ある物を機器のまわりで使用しない
火災の原因になります。



禁止

給湯、シャワー、お風呂を沸かす以外の用
途には使用しない
思わぬ事故を予防するため。



禁止

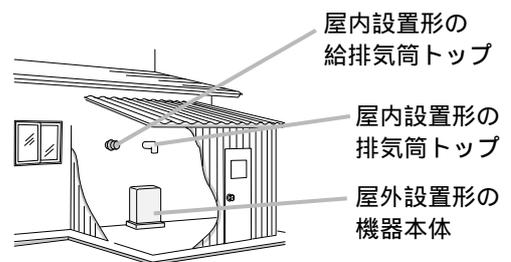
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、
機器本体や排気口・(給)排気筒トップのま
わりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が
爆発するおそれがあります。



禁止

増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



禁止

特殊薬品の使用禁止

美容院、クリーニング店、工場などで使用さ
れる業務用薬品(シリコン系スプレー、アンモ
ニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類
等)が気化し、給気口より空気と一緒に機器の
燃焼室に吸い込まれて本体を急速に腐食させ
不完全燃焼を起こす原因となります。



禁止

使用上の注意

油タンクの元栓を閉めた状態やリモコンの運
転スイッチが「切」の状態では給湯栓を開けな
いでください。火がつかない状態で通水すると
機器内に結露水が発生し故障の原因になりま
す。

(つづく)

特に注意していただきたいこと-3

(つづき)



空だきに注意

注意

おふろをわかすときは、浴槽の循環アダプターより5cm以上給湯(または給水)されているか確認してください。火災のおそれがあります。

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

お願い (NOTICE)



電源プラグを抜く

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)



ぬれ手禁止

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグをコンセントに差し込み、時計を合わせてください。

冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。



感電注意



ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器等の損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光をさけた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

凍結による破損を予防する(☞P47~50)

あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。

シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

台所リモコン・サブリモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

浴槽の循環アダプターをタオル

などでふさがない

穴に物を詰めない

おふろ沸かしができません。機器の故障の原因になります。



(つづき)

浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する

増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。

また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要な空間については、お取扱店または、東陶メンテナンス(株) ☎ 0120-1010-05(フリーダイヤル)に確認してください)

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。

これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。

配管洗剤(別売品)の使用に際しては、注意書きをよく読み、すすぎを充分におこなってください。

長期間使用しない場合、必要な処置をする

(☞P51)

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉じる

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは、飲用や調理用に適さない水が配管にとどまる場合があります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

積雪時には給・排気口、(給)排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給・排気口、(給)排気筒トップがふさがれると、不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・油タンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

屋外設置形

RPE46KD, KDB, KDS, KDSB, KA, KAB, KAS, KASB
RPE36KA, KAB, KAS, KASB

